

協議体会議 実施報告書

【協議体会議の実施状況】

会議	圏域	第 1 回	第 2 回
第 2 層協議体会議	第 1	2月29日（木） 14：00	3月26日（火） 14：00
	第 2	6月22日（水） 13：30	3月7日（木） 13：30
	第 3	7月31日（月） 14：00	3月14日（月） 10：30
	第 4	1月18日（木） 14：00	3月18日（月） 10：00
	第 5	1月24日（水） 10：00	2月28日（水） 10：00
	第 6		
	第 7	1月16日（火） 13：00	3月28日（木） 10：00
	第 8	12月18日（月） 10：00	3月21日（木） 10：00
第 1 層 協議体会議		3月19日（火） 13：30	

【第 2 層協議体会議】

テーマ：第 1 回「地域計画の取り組み状況と今後の方向性について」
第 2 回「地域住民同士による支え合い活動の現状と課題について」

意見等：

- ・コロナ禍で思うように計画を進めることが難しかった。
- ・とりあえずやってみようという精神で続いている（≠参加者が少ないからやめる）
- ・まち協の存在や取り組み内容の認知度がまだまだ低い。
- ・地域での活動を把握できていない。情報も行き届いていない。（回覧板は見ない）
- ・今のところまだ声は出ていないが、移動手段のことに関しては今後困る人が出てくると思うので、何らかの対策が必要だと感じている。
- ・地域のつながりを強めるために、他世代間の交流（子ども食堂等）が必要だと思う。
- ・個人情報の取り扱いの関係で、支援や対応に苦慮することがある。
- ・民生委員やまち協役員等のなり手が少なく、組織としての存続も将来的に心配である。
- ・自治会長等も 1 年交代のところも多く、引継ぎや円滑な運営に支障が出る場合がある。
- ・ボランティア・奉仕活動という考えでは長続きしないが、見合う財源の確保が問題。

【第1層協議体会議】 令和6年3月19日（火）13：30～15：00

参加者：水野 克則 氏（鈴鹿市自治会連合会 会長）
前川まゆみ 氏（鈴鹿市民生委員児童委員協議会連合会 会長）
山本 勝也 氏（鈴鹿市老人クラブ連合会 会長）
里見 力 氏（鈴鹿市地区社会福祉協議会 会長）
豊田 雄祐 氏（生活協同組合 コープみえ鈴鹿センター 地域活動スタッフ）
森口 義文 氏（ささえあいま庄野 代表）
岩波 正夫 氏（稲生助け愛ネット 代表）
尾市 昭 氏（旭お助け隊 代表）
川喜田美恵 氏（はごろも 代表）
眞弓 裕雄 氏（支え合いネット・あいかわ 代表）
立松 彦一 氏（なご微助っ人 代表）
古市 真弘 氏（鈴鹿市基幹型地域包括支援センター センター長）
今西 優子 氏（鈴鹿市 長寿社会課 地域包括ケアシステム推進室 室長）

テーマ：小地域福祉活動を支える担い手等の確保について

意見等：

- ・生活支援サービスについては、市全体が協働して進める必要性を感じている
- ・行政や社協がリーダーシップをとってほしい（PDCAのCAがなされていない）
- ・サービス・支援内容に地域差があっているのか？
- ・意見として多くの課題が出されているが、乗り越えた先に今がある
- ・困っている人を助ける、それだけでの想いで続けている
- ・できない理由を探すのではなく、どうやったらできるかを考えてほしい
- ・協議体会議は、話し合いの場で終わるのではなく、問題解決の取り組みを進める
- ・今やっている人たちが楽しんで取り組めるように支援者同士の交流の場をつくりたい
- ・クリスマス会を、子どもたちだけでなく地区の高齢者を招待して実施することで、積極的に世代間交流ができるように工夫している
- ・鈴鹿市内には大学もあるので、地域の行事等に協力してもらえるように働きかけている
- ・独居高齢者、特に男性が地域との関わりが持てるような取り組みが必要である
- ・町民運動会の競技の合間に、担当地区の民生委員や地域の取り組みの紹介をしている
- ・子ども食堂を通して、地域との交流をつくり、世代を越えたつながりにつなげている
- ・支援者全体会議を、お互いの顔が見えるように配席するだけでもいい雰囲気になった
- ・生活支援サービスの無料体験、チラシを配布しつつづける中で利用が広まった
- ・小地域福祉活動を支える担い手を考えたときに、提案された研修は直接につながらないように感じる（もっと泥臭いところ、根気よく声かけをしていくなどが必要）
- ・各地域でやっている実情を知りたい、総会資料だけでも共有したい
- ・名称は様々であるが、まちづくり協議会福祉部会間での情報共有や意見交換ができる場を定期的に設けてほしい（民児協では、毎年地区間交流を実施している）
- ・話し合われるテーマとして、ぜひ災害時の対応も入れてほしい

第2層協議体会議

活動範囲：地域の生活圏域

資料8

目的

- ①ニーズの把握 ②課題解決に向けた検討 ③社会資源の開発 ④関係機関との情報共有

役割

- ①高齢者、子ども、障がい者等に関するニーズと社会資源の把握、課題解決に向けた検討、関係機関の連携強化、ならびに協働の推進
- ②多様な主体への活動協力の推進
- ③第1層協議体との連携
- ④その他、生活支援体制整備に必要な事項の調整

第1層協議体会議

活動範囲：鈴鹿市全域

目的

- ①情報共有 ②連携・協働による資源開発等の推進

役割

- ①鈴鹿市全体の高齢者福祉についての検討に関すること
- ②地域ニーズの把握に関すること
- ③他業種間、広域間での情報共有及び連携に関すること
- ④第2層協議体との協力・連携に関すること

